

【静岡県牧之原市】【牧之原市菊川市学校組合】
校務 DX 計画

1.現状と課題

令和5年度に校務システムをプライベートクラウド化し、拠点間を閉域網で接続することで、セキュリティを強化した。また、これまで課題となっていたハードウェア性能の不足による業務のストレスを解消し、業務環境の改善を図った。

しかしながら、現状では校務系と学習系のネットワークが分離されており、校務系システムは職員室内の有線 LAN 接続に限定されている。この制約は、より柔軟で効率的な業務環境の実現に向けた課題として認識している。

「GIGA スクール構想の下での校務 DX チェックリストの自己点検結果」(文部科学省令和6年11月実施)を数値化した結果では、牧之原市・牧之原市菊川市学校組合の得点が静岡県全域の平均点を上回る450点であった。

特に DX 化が進んでいるものとして、「職員間の情報共有や連絡におけるクラウドサービスの活用」や「教職員への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施集計している」が挙げられる。

一方で、一部の項目については課題が残る結果となり今後の取組として対応を行っていききたい。

2.今後の取組について

校務系と学習系ネットワークの統合は、2030年に予定されている義務教育学校の開設を機に統合することを目指して検討していく。

また、校務の DX 計画としては、以下のとおり対応を行っていく。

- ・クラウドサービス活用の推進
- ・CBTの活用の推進
- ・校務のICT化の推進

3.FAX・押印の見直しに向けての検討

現在、12校全ての学校でFAXを活用している。また、12校全ての学校で、保護者・外部とのやりとりで押印・署名が必要な書類があると回答している。

本市、組合として、学校から提出される申請書や報告書等の押印について見直しを行うとともに、各学校がFAXでの送信や押印を求めている関係団体・事業者等を把握し、制度・慣行の見直しを図るよう求める働きかけを行っていく。